

荒木特許事務所 ゴマメ通信

(201406号)

発行人：発明を育てる会（千葉発明研究会）きもいりやく肝入役

荒木特許事務所 弁理士 荒木 昭 生

住 所：(千葉本室)

〒 261-0004 千葉市美浜区高洲2-7-5-103

Tel/fax043-245-8721 Email:a-araki099@nifty.com

写真は、近くの知り合いから頂いた枝付きの蜜柑(みかん)である。ゴマメの育った地方では、蜜柑と橙(だいだい)があって、橙は夏みかんと酢だいの2種類があり、酢だいは、正月の鏡餅に載せていた。橙は年を越しても木から落ちず、「代々続く」縁起物として鏡餅に載せると言うことらしい。酢橙は鍋料理に生酢としてポン酢代わりに使用すれば最高である。



H26. 12. 18撮影

この通信は、知的財産関連情報や時に感じる話題に関して、筆者のゴマメが自己の知人や友人に気の向くままに発信する一種のエッセーである。ゴマメの生存の証に「ゴマメの戯言」としてご笑覧くださいませ

正月に何か書いてみようと思っていたが、年末に家の中で転倒し、頭と腕を打って安静を余儀なくされた。本箱のドアにヒビが入る程の衝撃だったが、石頭が幸いして後遺症は出なかった。腕の方は未だ腫れも痛みも残っており左の腕が不自由である。レントゲンでは骨折は無いが回復は年齢と時間の問題らしい。

燃料電池自動車

1月8日の新聞によれば、トヨタ自動車が燃料電池車の特許約5,680件を無償で開放するそうだ。燃料電池は、水素と酸素を電気化学反応させて電気を作る発電装置である。具体的には空気極(+)と燃料極(-)の間に電解質を挟んだ複数のセルをセパレータで囲って積み重ねたセルスタックから構成されている。

燃料電池に関する「平成23年度特許動向調査」(特許庁審査第3部 藤城 亮)によれば、平成17年(2005年)～平成21年(2009年)までの5年間の燃料電池に関する出願人別調査では、第1位:トヨタ自動車(5,871件)、第2位:サムスンSDI(韓国)(1,971件)、第3位:本田技研工業(1,931件)、第4位:日産自動車(1,576件)、第4位:ゼネラルモーターズ(米国)(1,401件)となっている。そしてこの動向調査の最後には、我が国の国際競争力を高めるためには「産業界の持つ特許技術の共有化による燃料電池自動車向け燃料電池の開発の促進」を提言している。

自信は無いがゴマメの調査では、特許電子図書館によれば、平成26年(2014年)末までのトヨタの特許出願件数は、5年間で約34,830件、そのうち燃料電池に関すると思われる出願は約2,100件に達している。これは、平均すれば年間420件もの出願件数になる。高額の特許訴訟が注目されているなかで、自社の利益だけではなく、我が国が国際競争に勝ち抜き、世界のクリーンエネルギー革命をリードするために、特許技術の共有化を身を以て示したトヨタの姿勢には敬意を表する。